CBL-CAS建築-0052-25 結果(2-3レーダー)

# **(人SBEE**-建築(新築)

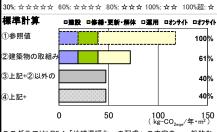
# ▮評価結果

. SBEE-**建築(新築)2024年版** | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.

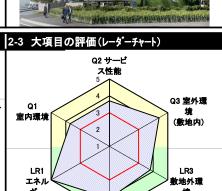


### 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) BEE =4.8 B⁻: ★★ BEE=1.0 B<sup>+</sup> C: ★ B<sup>+</sup> Ø B-50 0.5 境品 С 0 100 50 環境負荷 L

### ーボン(温暖化影響チャート) 2-2 ホールライフカ-

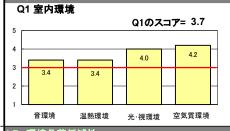


このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な 建物(参照値)と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

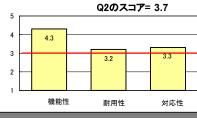


LR2 資源

### 2-4 中項目の評価(パーチャート)







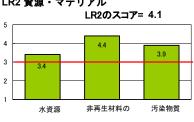
## Q のスコア=



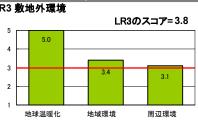
3.9

### LR1 エネルギ LR1のスコア= 5.0 5.0 設備システ 効率的 建物外皮の 自然エネ

### LR2 資源・マテリアル



#### LR3 數地外環境



### 3 設計上の配慮事項

- 敷地は埼玉県幸手市の工場団地に位置する。
- ・敷地内はグループ会社で連携したイノベーションを起こす次世代研究所として計画されている。本棟はその中心と

# なる研究棟である。

- ・2.9m以上の天井高を確保している。
- ・仕上材に木材を使用し、自然を感じる内装計画としてい

- ・外周木フレームに埼玉県材秩父杉を使用し、まちなみ 景観に配慮している。
- ・建物利用者を含めたワークショップを開催し、ニーズ ことで快適性の向上に配慮している。

している。

- Net-ZEBを達成している。
- ・コミッショニングの計画やシステム効率の把握、そし て需給一体型EMSを導入をするなどエネルギーの効率的 な運用に配慮している。

・T-2サッシを採用し、開口部の遮音性に配慮している。

・中央監視でCO2濃度を常時把握できるシステムを採用

#### LR2 資源・マテリアル

- ・躯体、躯体以外それぞれにリサイクル材を使用してい
- ・部材の再利用可能性向上のため、LGS工法・OAフロア を採用している。 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用している。
- ・ホールライフカーボンの排出量を37%に抑えている。 ・光害に配慮し広告物照明を使用していない。
- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
  ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果
- ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

#### 無断転載禁止

CBL-CAS建築-0052-25 スコア

CASBEE-建築(新築)2024年版 *大成建設グループ次世代技術研究所/幸手* 

■使用評価マニュア CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

_	アシー		<u> </u>	<b>■</b> π IIII / ·		0,1022	L-DD_NO		
^-	172	<u>- -</u>	天						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q	建築物	勿の環	境品質			ボ奴		不致	3.9
Q1	室内	環境				0.40		-	3.7
1	音環均				3.4	0.15	•	-	3.4
			<b>経音レベル</b>	目標騒音值45dB以下	4.0	0.40	•	-	
	1.2	<u>遮音</u>	Inn that the fee	- all 3 # 500	4.2	0.40		-	
			開口部遮音性能	T-2サッシを採用	5.0	0.60	+	-	
			界壁遮音性能	_	3.0	0.40	-	-	
			界床遮音性能(軽量衝撃源) 界床遮音性能(重量衝撃源)	_		-	•	-	
	12	<u> </u>	乔体巡目住能(里里闰学版)	_	1.0	0.20			
2	温熱理				3.4	0.20		-	3.4
_		室温制	11御		2.7	0.50		-	0.4
			室温	_	3.0	0.38		-	
			外皮性能	_	2.0	0.25	-	-	
		3	ゾーン別制御性	1-	3.0	0.38	+	-	
	2.2	湿度制	引御	]-	3.0	0.20	•	-	
	2.3	空調力	式	床吹き出し空調と輻射パネル空調を採用	5.0	0.30	-	-	
3	光·視				4.0	0.25	-	-	4.0
	3.1	昼光和			3.8	0.30	-	-	
			昼光率	_	3.0	0.60		-	
			方位別開口			-	•	-	
			<u>屋光利用設備</u>	トップライトとハイサイドライトを採用	5.0	0.40	-	-	
	3.2	グレア		ゴー ハドトウナ40つ 人とリーンフ	4.0	0.30	•	-	
			<b>昼光制御</b>	ブラインドと庇を組み合わせている	4.0	1.00	-	-	
		照度	il 公n	」─ ┃1作業単位で照明制御が可能	3.0	0.15	•	-	
4		照明制度	<b>川</b> 御	11下未単位で照明制御が可能	5.0 4.2	0.25	•	-	4.2
4		<b>発生</b> 源	5 <del>선</del>		4.2	0.25	*	-	4.2
	4.1		水水 化学汚染物質	Ⅰ ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を採用	4.0	1.00		_	
	42	<del>L'</del> 換気	比于/7末初頁	I WIND THE PARTY OF THE PARTY O	4.0	0.30		_	
	7.2		換気量	中央管理方式で30m3/h人の換気量を確保	4.0	0.33		_	
			自然換気性能	自然換気有効開口面積率を居室床面積の1/15以上確保	5.0	0.33		_	
			取り入れ外気への配慮	_	3.0	0.33	+	_	
	4.3	運用管	· 理		5.0	0.20	•	-	
			CO₂の監視	中央監視でCO2濃度を常時把握できるシステムを採用	5.0	0.50	-	-	
			喫煙の制御	全館禁煙である	5.0	0.50		-	
Q2		ごス性	能		-	0.30	-	-	3.7
1	機能性				4.3	0.40	-	-	4.3
	1.1		上・使いやすさ	0.0/1以上の執及ファッフナなり	3.6	0.40	-	-	
			広さ・収納性	9m2/人以上の執務スペースを確保 複数の通信事業者の回線が使用できるように配慮	4.0	0.33	•	-	
			高度情報通信設備対応		4.0 3.0	0.33		-	
	1 2		バリアフリー計画 ₺・快適性		5.0	0.33		-	
	1.2		上・	】 2.9m以上の天井高を確保	5.0	0.30			
			リフレッシュスペース	リフレッシュスペースと自動販売機を確保	5.0	0.33	_	_	
			内装計画	仕上材に木を使用し、自然を感じる内装計画としている	5.0	0.33		_	
	1.3	維持管			4.5	0.30	-	-	
			維持管理に配慮した設計	防鳥網の設置等、外壁面の防汚性に配慮	4.0	0.50		-	
			維持管理用機能の確保	清掃用具室、ゴミ庫を十分なスペース確保	5.0	0.50		-	
2		生・信頼			3.2	0.30	-	-	3.2
	2.1	耐震·1	免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
		1	耐震性(建物のこわれにくさ)	_	3.0	0.80	-	-	
			免震·制震·制振性能	<del>-</del>	3.0	0.20	-	-	
	2.2		部材の耐用年数	_	3.4	0.30	*	-	
			躯体材料の耐用年数	<u></u>	3.0	0.20	-	-	
			外壁仕上げ材の補修必要間隔  主要内装仕上げ材の更新必要間隔	┃─ ┃床を木板仕上・耐用年数25年を採用	2.0 5.0	0.20	-	-	
			主要内装仕上げ材の更新必要間隔	「本で不似江工・町用午数25千を採用   高温多湿ダクトにステンレス鋼板、ガルバニウムダクトを採用	5.0 5.0	0.10 0.10		-	
			空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C),排水:VP(B),冷媒:Cu(C)	4.0	0.10			
			主要設備機器の更新必要間隔	_	3.0	0.20	_		
	24	信頼性			3.8	0.20		_	
			 ┃空調・換気設備	配管を吊配管とし、被害の低減に配慮している	4.0	0.20		_	
		2	給排水・衛生設備	_	3.0	0.20	-	-	
		3	電気設備	無停電電源装置等を備えている	4.0	0.20	-	-	
		4	機械·配管支持方法	_	3.0	0.20	-	-	
		5	通信•情報設備	ネットワーク機器用の無停電装置を備えている	5.0	0.20	-	-	

CBL-CAS建築-0052-25 スコア

13								
	対応性	生•更新性		3.3	0.30		-	3.3
	3.1	空間のゆとり		3.6	0.30	-	-	
	•	1 階高のゆとり	3.7m以上、3.9m未満の天井高を確保	4.0	0.60			
			6.711次工、6.31177洞07人升同飞唯体				-	
		2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	•	-	
	3.2	荷重のゆとり	_	3.0	0.30	-	-	
		設備の更新性		3.4	0.40			
	3.3					-	-	
		1 空調配管の更新性	<u></u>	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	_	3.0	0.20	-	_	
			配管配線方式を採用	5.0	0.10			
		3 電気配線の更新性				-	-	
		4  通信配線の更新性	配管配線方式、OAフロア内配線を採用	5.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	_	3.0	0.20	_	_	
		6  バックアップスペースの確保	_	3.0	0.20	•	-	
Q3	室外:	環境(敷地内)		_	0.30	-	-	4.4
1		環境の保全と創出	地域特性に適した樹木を選定し緑化している	4.0	0.30		-	4.0
<u> </u>				1			-	
2	まちな	み・景観への配慮	外周木フレームに埼玉県材秩父杉を使用	5.0	0.40		-	5.0
3	地域性	生・アメニティへの配慮		4.0	0.30		-	4.0
_		地域性への配慮、快適性の向上	建物利用者を含めたワークショップを開催しニーズを的確に把握	4.0	0.50			
						_	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	排熱のある建築設備を全てGL+10m以上に設置	4.0	0.50	*	-	
I R	建築	物の環境負荷低減性			-		ī	4.3
LR1	エネノ	レギー			0.40	-	-	5.0
1	建物点	<b>小皮の熱負荷抑制</b>	BPI=0.79	5.0	0.20		-	5.0
-			自然換気の計画があり、影響範囲は主要な室の全体に及ぶ					
2		エネルギー利用(直接利用)		5.0	0.10		-	5.0
3	設備	システムの高効率化	BEI=-0.15	5.0	0.50	•	-	5.0
		集合住宅以外の評価		5.0	1.00			
			-	0.0	1.00			
		集合住宅の評価			-		-	
4	効率的	内運用に向けた取組み	1	5.0	0.20	-	-	5.0
	.,,	集合住宅以外の評価		5.0	1.00			
		4.1 モニタリング	4種類のシステムの効率評価が可能	5.0	0.40	-	-	
		4.2 運用管理体制	需給一体型EMSを導入している	5.0	0.40		_	
			蓄電池を導入し、複数の運用方法を計画している	5.0				
		4.3 非化石エネルギーの導入の拡大		5.0	0.10		-	
		4.4 コミッショニングの推進	OPRの明確化はじめ、コミッショニングの計画がある	5.0	0.10	-	-	
		集合住宅の評価						
					-	*	-	
		4.1 モニタリング	<u></u>		-	-	-	
		4.2 運用管理体制	1_		_		_	
LDO	201.25	1 1			0.00			4.4
LRZ	頁源'	・マテリアル			0.30	-	-	4.1
11	水資源	原保護		3.4	0.20	-	-	3.4
<del>-</del>		節水	節水コマに加え、省水型便器を採用	4.0	0.40			
			が、「これに、日水主文品を水川				-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
		1 雨水利用システム導入の有無	_	3.0	0.70	-	_	
		2  雑排水等利用システム導入の有無	_	3.0	0.30		-	
2		· ·						
	非円5	生性資源の使用量削減		4.4	0.60	-	-	4.4
			-		0.60		-	4.4
	2.1	材料使用量の削減	-	3.0	0.60 0.10	-	-	4.4
	2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用	- -	3.0 3.0	0.60 0.10 0.20	-	- - -	4.4
	2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用	  基礎に高炉セメントを使用	3.0	0.60 0.10	-	- - -	4.4
	2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0 3.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20	-	-	4.4
	2.1 2.2 2.3 2.4	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	エコマークのビニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用	3.0 3.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20	-	- - - -	4.4
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	エコマークのビニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.10	- - - - -	- - - -	4.4
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	エコマークのビニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用	3.0 3.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20	-	-	4.4
2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み	エコマークのビニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	エコマークのピニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.10	-	-	3.9
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	エコマーケのビニル床材・ホート、ゲリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用	エコマークのピニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	エコマーケのビニル床材・ホート、ゲリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	エコマーケのビニル床材・ホート、ゲリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	エコマー/のじ、二ル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 住民S工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)	エコマーケのビニル床材・ホート、ゲリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	- - - - -	-	
3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	エコマー/のじ、二ル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 住民S工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70	- - - - -	-	
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	エコマー/のじ、二ル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 住民S工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50		-	3.9
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	エコマークのピニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 4.0 3.5 -	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30	- - - - -	-	3.9
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	エコマー/のじ、二ル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 住民S工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50		-	3.9
	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	エコマークのピニル床材・ボード、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 4.0 3.5 -	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30			3.9
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 動地球派 地球派	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地/ 地球派 地域系	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地/ 地球派 地域系	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  温暖化への配慮 環境への配慮  環境への配慮  大気汚染防止 温熱環境悪化の改善	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  温暖化への配慮 環境への配慮  大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境での配慮 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 3.4 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  温暖化への配慮 環境への配慮  大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮  環境での配慮  地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 3.4 5.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.10 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25		-	3.9 3.8 5.0
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料 3.1 3.2 敷地域 地域或 2.1 2.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  が環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制  1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.9 3.8 5.0
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.7	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  が環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制  1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.9 3.8 5.0
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  大気汚染防止 温熱環境悪化の配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.7	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最強への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.7	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 數地域 2.1 2.2 2.3	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  3 冷媒  最暖化への配慮 最境への配慮 最境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最境への配慮  騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 2.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 張動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  3 冷媒  最暖化への配慮 最境への配慮 最境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 最境への配慮  騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 環性への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 臓暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 脈音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境である。 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止  1 騒音 2 振動・悪臭の防止  1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       污染中       3.1       3.2       敷地環       2.1       2.2       2.3       3.1	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 臓暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 脈音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       汚染率       3.1       3.2       數地決       2.1       2.2       2.3       高.1       3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒  が環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 果境への配慮 果境への配慮 果境への配慮 果境への配慮 果境への配慮 果境への配慮 また、汚水処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 果境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止  1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       汚染率       3.1       3.2       數地決       2.1       2.2       2.3       高.1       3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのピニル床材・ポード、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用   LGS工法、OAフロアを採用   TDーリング 接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング 材でPRTR法に   該当品建材を使用   ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用   WLC排出量40%   燃焼設備を使用していない   敷地に対し空間に余裕のある建物ボリュームとした	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       汚染率       3.1       3.2       數地決       2.1       2.2       2.3       高.1       3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのビニル床材・ホート、グリーン購入法の断熱材を採用使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用 LGS工法、OAフロアを採用 フローリング接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング材でPRTR法に該当品建材を使用 ー ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用 ー WLC排出量40% 燃焼設備を使用していない	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4
LR3 1 2	2.1       2.2       2.3       2.4       2.5       2.6       汚染率       3.1       3.2       數地決       2.1       2.2       2.3       高.1       3.2	材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避  1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 2 振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	エコマークのピニル床材・ポード、グリーン購入法の断熱材を採用 使用する木材の50%以上に針葉樹を採用   LGS工法、OAフロアを採用   TDーリング 接着剤/防水塗装/塗床材/サッシ用シーリング 材でPRTR法に   該当品建材を使用   ODP=0かつGWP10未満の断熱材を使用   WLC排出量40%   燃焼設備を使用していない   敷地に対し空間に余裕のある建物ボリュームとした	3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.9 5.0 3.5 - 4.0 3.0 - 5.0 3.4 5.0 3.0 2.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.60 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.8 5.0 3.4

CBL-CAS建築-0052-25 スコア

	BEE-建築(新築)2024年版											7	成建設グ	ループ次世	代技術研	究所/幸手
評価	する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11		No.13
Q2	サービス性能															
	内装計画	4.0	_	0	0	0	0	_	_	-	_					
	維持管理に配慮した設計	6.0			0	_	_	0	-	0	0	0	0	_	_	_
	維持管理用機能の確保	10.0		_	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_	_	0
	空調•換気設備	2.0		_	-	_	0	0								
	給排水•衛生設備	2.0	2.0	0		0		_	-	_						
	電気設備	3.0	2.0	0	0		0	_								
_	通信•情報設備	4.0			-	0		0								
_	室外環境(敷地内)			3 1												
	生物資源の保全と創出	10.0		2.0	-	3.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-		
	まちなみ・景観への配慮	5.0		2.0	1.0	_	1.0	1.0	-							
	地域性への配慮、快適性の向上	4.0			1.0	_		1.0	1.0	1.0	_					
	敷地内温熱環境の向上	12.0		<u> </u>	1.0	3.0	3.0			1.0	2.0	2.0				
	エネルギー					,										
2	自然エネルギー利用(直接利用)					_	<u> </u>	0	_	_	_	_	_	_	_	_
_	コミッショニングの推進	2.0		0	0			0								
	資源・マテリアル															
	雨水利用システム導入の有無															
	雑排水等再利用システム導入の有無			-	_	_	_	-	-	-	-					
	材料使用量の削減	2.0			_	2.0										
	躯体材料におけるリサイクル材の使用				1.0		_	_								
	部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		0	_	0	_									
_	有害物質を含まない材料の使用	4.0														
_	敷地外環境		Process and the same of the sa												***************************************	
	温熱環境悪化の改善	12.0		1.0	1.0	-	3.0	3.0		_	3.0	1.0	_			
	交通負荷抑制	2.0			_	1.0		1.0	-							
	廃棄物処理負荷抑制	2.0		_	1.0	1.0	_		_	-						
3.2.2	砂塵の抑制	_			-											
3.3.1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											
<b>士</b> 力:																
	室内環境															
				窓システ	1,50	0.4	郊へ	그 슬냥 총차 Ting	温率(~)	0.4						
2.1.3	外皮性能							3射熱取			M 8+	0.6	,	_		
				U値(W/n			システム		屋根		外壁			_	-	
2 1 1	日小本					ステムU値	-	9	ト皮UA値	-	η AC		ηAH	-	-	
	昼光率 白然始与性能			昼光率	1.7%											
	自然換気性能			日杰撰录	1月初用	口面積率	14.1%									
	サービス性能			#h 3/5		100-2	/ 1	<del>c</del>	A 8	/ <b>d</b>	20.40	A 2	W. 43.	02		
	広さ・収納性			執務スペ		10.0m²		病床	.0m	/床	シングル	.um	ツイン	.0m²	•	
	高度情報通信設備対応			コンセント	谷里		VA/m <sup>2</sup>									
	広さ感・景観			天井高	7 .0	3.4			7 c° -	0.00						
	リフレッシュスペース			リフレッシ			3.6%	レスト	スペース	0.0%						
	躯体材料の耐用年数			想定耐用			年									
	外壁仕上げ材の補修必要間隔	原三		想定必要			年									
	主要内装仕上げ材の更新必要間	川門		想定必要			年									
	主要設備機器の更新必要間隔			想定必要	间隔		年									
	階高のゆとり			階高	-	3.77										
	空間の取件 ウエナ															
	空間の形状・自由さ			壁長さ比	#	35.0%										
	荷重のゆとり			歴長さ比 床荷重	+		N/m2									
	荷重のゆとり 室外環境(敷地内)			床荷重		2900	N/m2	Z=+14=43 **	, +E-wa	000						
<b>Q3</b> 1	荷重のゆとり <b>室外環境(敷地内)</b> 生物資源の保全と創出			床荷重 外構緑化	:指数	2900 68%	N/m2	建物緑化		0% **********		500		<b>金井工建产</b>		
<b>Q3</b> 1 3.2	荷重のゆとり <b>室外環境(敷地内)</b> 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上			床荷重		2900 68%	N/m2	· 建物緑⑴ 影面積率			対策面積率	50%		舗装面積率	0%	
<b>Q3</b> 1 3.2	荷重のゆとり <b>室外環境(敷地内)</b> 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー			床荷重 外構緑化 空地率	:指数 59%	2900	N/m2 水平投	影面積率		地表面		50%		舗装面積率	0%	
<b>Q3</b> 1 3.2 <b>LR1</b> 1	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI	:指数 59% m	2900	N/m2	影面積率	30%	地表面:	相当					
<b>Q3</b> 1 3.2	荷重のゆとり <b>室外環境(敷地内)</b> 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー			床荷重 外構緑化 空地率	:指数 59% m	2900	N/m2 水平投	影面積率	30%	地表面 0 採光を満	相当 たす教室数	0.0%	採光を満	たす住戸数	0.0%	• •
Q3 1 3.2 LR1 1 2	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用)			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI	:指数 59% m	2900	N/m2 水平投	影面積率	30%	地表面 0 採光を満 通風を満	相当 たす教室数 たす教室数	0.0%	採光を満 通風を満	たす住戸数 たす住戸数	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPII 影響範囲	:指数 59% m の割合	2900 68% 0.79 100.0%	N/m2 水平投	影面積率 性能等級	30%	地表面: 0 採光を満 通風を満 太陽光	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW	0.0% 0.0% 太陽熱等	採光を満 通風を満 .0kW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響範囲 BEI/BEI	.指数 59% m の割合	2900 68% 0.79 100.0%	N/m2 水平投	影面積率 性能等級 無	0.44	地表面: 0 採光を満 通風を満 太陽光	相当 たす教室数 たす教室数	0.0% 0.0% 太陽熱等	採光を満 通風を満	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響範囲 BEI/BEI	.指数 59% m の割合	2900 68% 0.79 100.0%	N/m2 水平投	影面積率 性能等級 無	30%	地表面: 0 採光を満 通風を満 太陽光	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW	0.0% 0.0% 太陽熱等	採光を満 通風を満 .0kW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPIn 影響範囲 BEI/BEIr 一次エネ	:指数 59% m dの割合 n 削減率	2900 68% 0.79 100.0% 再工补有 再工补有	N/m2 水平投 断熱等	影面積率 性能等級 無	0.44	地表面: 0 採光を満 通風を満 太陽光	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW	0.0% 0.0% 太陽熱等	採光を満 通風を満 .0kW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無			床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響範囲 BEI/BEIr 一次エネ	指数 59% m dの割合 n 削減率	2900 68% 0.79 100.0% 再工补有 再工补有	N/m2 水平投 断熱等	影面積率 性能等級 無無無	0.44	地表面 0 採光を満 通風を満 大陽光 オフ	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 -	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響範囲 BEI/BEI 一次エネ 雨水利用	.指数 59% m dの割合 n 削減率	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 0.0% 断熱材	N/m2 水平投 断熱等	影面積率 性能等級 無無無	0.44	地表面 0 採光を満 通風を満 大陽光 オフ	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/ 持続可能な森林から産出された:	レ材の使用	Ħ	床荷重  外構線化 空地率  BPI/BPII 影響範囲  BEI/BEII 一次エネ  雨水利用 特定調達使用比率	59% 59% m の割合 n 削減率	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 0.0% 断熱材 98.0%	N/m2 水平投 断熱等	影面積率 性能等級 無無 無	30% 0.44 ####### 夕商品	地表面: 0 採光を満 通風を満 オフ ビニル床	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 -	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1 2.2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイクノ 持続可能な森林から産出された: 消火剤	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPII 影響範囲 BEI/BEII 一次エネ 雨水利用 特定調過 使用比率 オゾン層	59% 59% m の割合 n 削減率 る。 破壊係数	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 98.0% 文(ODP)	N/m2 水平投 断熱等  #######	影面積率 生能等級 無無無 エコマー 地球泳	30% 0.44 ###### ク商品 温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サハ再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイクノ 持続可能な森林から産出された: 消火剤 発泡剤(断熱材等)	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響 ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	59%  10 割合  1	2900 68% 0.79 100.0% 再工补有 再工补有 98.0% 女(ODP)	N/m2 水平投 断熱等  #######	影面積率 生能等級 無無 エコマー 地球。	0.44 #######  夕商品  温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床 数(GWP) 数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集商・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイクリ 持続可能な森林から産出された 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPII 影響範囲 BEI/BEII 一次エネ 雨水利用 特定調過 使用比率 オゾン層	59%  10 割合  1	2900 68% 0.79 100.0% 再工补有 再工补有 98.0% 女(ODP)	N/m2 水平投 断熱等  #######	影面積率 生能等級 無無 エコマー 地球。	30% 0.44 ###### ク商品 温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床 数(GWP) 数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サハ再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.2 3.2.3 LR3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/ 持続可能な森林から産出された: 消火剤(断熱材等) 冷媒 敷地外環境	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響 ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	59%  10 割合  1	2900 68% 0.79 100.0% 再工补有 再工补有 98.0% 女(ODP)	N/m2 水平投 断熱等  #######	影面積率 生能等級 無無 エコマー 地球。	0.44 #######  夕商品  温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床 数(GWP) 数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サハ再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.2 3.2.3 LR3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集商・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイクリ 持続可能な森林から産出された 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地率 BPI/BPI 影響 ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	指数 59% m の割合 m 削減率 場	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 0.0% 断熱材 98.0% 女(ODP) 女(ODP)	N/m2 水平投 断熱等  #######	影面積率 性能等級 無無 地地球 地地球球 場指標RW	0.44 ###### 夕商品 温暖化係 温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床 数(GWP) 数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0%	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.2 3.2.3 LR3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/ 持続可能な森林から産出された: 消火剤(断熱材等) 冷媒 敷地外環境	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構緑化 空地 BPI/BPI 影響範囲 BEI/BEI 一次エネ 雨定用比層 使用ソンシン アンシンア	指数 59% m の割合 n 削減率 品目 w 破壊係数 破壊係数 が破壊係数	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 (0.0% 数(ODP) 数(ODP)	N/m2 水平投 断熱等 - - - - -	影面積率 性能等級 無無 地地球 地地球球 場指標RW	0.44 ###### 夕商品 温暖化係 温暖化係	地表面 0 採光を満 太陽光 オフ ビニル床 数(GWP) 数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - - - - - - - - - -	採光を満通風を満 のkW	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0% 1,103.0kWh	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 LR2 1.2.1 2.4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.2 3.2.3 LR3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/ 持続可能な森林から産出された: 消火剤(断熱材等) 冷媒 敷地外環境	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構線化 空地率 BPI/BPI 影響節囲 サた課題上降 インター サークス トラフィー サークス トラフィー サークス トラフィー サークス トラフィー サークス トラフィー サークス トラフィー オープンアー オープンアー オープンアー アークス アークス アークス アークス アークス アークス アークス アー	指数 59% m の割合 n 削減率 品目 る 破破壊係 数 域壊係 数 数 は 比 面積 類	2900 68% 0.79 100.0% 再工ネ有 再工ネ有 98.0% 女(ODP) 女(ODP) 女(ODP)	水平投 断熱等 	影面積率 性能等級 無無 地球 地球球 地球球	0.44 ###### 夕商品 温暖化係 温暖化係 3.63 量根面対	地表面  0 採光を満 太陽光 オフ  ビニル床  数(GWP)  数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有 材、ボー胞 3	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の - - - - - - -	採光を溢風を湛 通風を湛 .0kW ○○GJ/年 - - 特定品目等	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0% 1,103.0kWh	· · ·
Q3 1 3.2 LR1 1 2 3 3 LR2 4 2.5 3.2.1 3.2.2 3.2.3 LR3	荷重のゆとり 室外環境(敷地内) 生物資源の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用(直接利用) 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅 資源・マテリアル 雨水利用システム導入の有無 躯体材料以外におけるリサイク/ 持続可能な森林から産出された: 消火剤(断熱材等) 冷媒 敷地外環境	レ材の使用	Ħ	床荷重 外構線化 空地率 BPI/BPI 影響範囲 サたアネール サーク サーク サーク サーク サーク サーク サーク サーク サーク サーク	指数 59% m の割合 n 削減率 品目 る 破破壊係 数 域壊係 数 数 は 比 面積 類	2900 68% 0.79 100.0% 再工未有 再工未有 98.0% 枚(ODP) 枚(ODP)	N/m2 水平投 断熱等	影面積率 性能等級 無無 ・ 地球 ・ 地球 ・ 地球 ・ もと直交	0.44 ###### 夕商品 温暖化係 温暖化係 3.63 量根面対	地表面  の 採光を満 太陽光 オフ  ビニル床  数(GWP)  数(GWP)  数(GWP)	相当 たす教室数 たす教室数 177.6kW サイト再エネ有 材、ボー胞 3	0.0% 0.0% 太陽熱等 - - :治体指定の - - - - - - -	採光を満通風を満。0kW ○○GJ/年 特定品目等 対策面積率	たす住戸数 たす住戸数 蓄電池	0.0% 0.0% 1,103.0kWh	